

2016年2月

公益財団法人日本バスケットボール協会

## 「登録料改定内容」と「競技環境充実に向けた新たな取り組み」について

### 1.2016年度・2017年度登録料の改定について

2016年度および2017年度については、JBA登録料を下記のとおりといたします。

#### (1) チーム加盟料・競技者登録料

加盟種別	【現行】			【2016年度・2017年度】	
	チーム加盟料	競技者登録料		チーム加盟料	競技者登録料
一般 (大学・専門学校等含む)	10,000円	1,000円	→	12,000円	1,200円
U-18 (高専含む)	4,000円	500円	→	6,000円	700円
U-15	2,500円	500円	→	4,500円	700円
U-12	1,000円	400円	→	3,000円	600円

\*加盟種別に関わらず、一律チーム加盟料2,000円増、競技者登録料200円増となります。

\*U-12(ミニ)の小学校3年生以下については、現行通り競技者登録料は無料です。

\*この他に、「都道府県協会」、「全国連盟(ブロック連盟)」、「都道府県連盟」にてそれぞれ設定された登録料が別途必要となります。

#### (2) コーチ登録料

ライセンス区分	【現行】		【2016年度・2017年度】
	コーチ登録料		コーチ登録料
JBA公認S級コーチ	未定	→	未定
JBA公認A級コーチ	3,500円	→	3,700円
JBA公認B級コーチ /JBA公認B(F)級コーチ	2,500円	→	2,700円
JBA公認C級コーチ	1,500円	→	1,700円
JBA公認D級コーチ	3,000円	→	3,200円
	初回事務手数料		初回事務手数料
JBA公認E-1級コーチ /JBA公認E-2級コーチ	1,000円	→	1,200円

\*ライセンス区分に関わらず、一律コーチ登録料200円アップとなります。

\*JBA公認E-1級コーチ、JBA公認E-2級コーチの初回事務手数料については2016年度・2017年度に新規登録を行う場合のみ、上記金額が適用されます。(2015年度までに資格を取得している場合、追加徴収は行いません。)

\*JBA公認A級～C級コーチについては、従来通り、上記とは別途日本体育協会への登録料(10,000円/4年)の納入が必要となります。

### (3) 審判登録料

【現行】			【2016年度・2017年度】	
ライセンス区分	審判登録料		ライセンス区分	審判登録料
AA級	5,000円 (+都道府県設定分)	→	S級	<b>30,200円</b> (内、都道府県分 10,000円)
A級	4,500円 (+都道府県設定分)	→	A級	<b>15,200円</b> (内、都道府県分 5,000円)
日本公認	4,000円 (+都道府県設定分)	→	B級	<b>8,200円</b> (内、都道府県分 3,000円)
—	(都道府県/連盟設定分)	→	C級	<b>6,200円</b> (内、都道府県分 3,000円)
—	(都道府県/連盟設定分)	→	D級	<b>4,200円</b> (内、都道府県分 1,000円)
—	(都道府県/連盟設定分)	→	E級	<b>2,700円</b> (内、都道府県分 500円)

\* 審判ライセンス制度は2016年度よりこれまでのAA級、A級、日本公認の3段階からC級・D級・E級を加えた6段階の新ライセンス制度に変更になります。

\* 上記2016年度・2017年度の審判登録料は、新ライセンス制度の審判登録料にそれぞれ200円が加算された金額となります。

\* これまではJBAで定めた審判登録料以外に都道府県協会や連盟にて設定された登録料が別途必要となっていました。今後はライセンスに応じた全国一律の登録料となります。

※尚、2018年度以降の登録料については、地域によって大きな格差がある登録料単価の是正を図るなど、チーム・競技者の登録制度体系を抜本的に見直す予定にしているため、改めて別途ご連絡させていただきます。

## 2. 競技環境充実のための新たな取り組みについて

登録料改定(チーム2,000円増、競技者・コーチ・審判200円増)によって生まれる新たな財源は、子どもからシニアまですべての年代におけるバスケットボール競技環境を充実させるための基盤作り等に活用していきます。

### <U-12>

U-12年代では、子どもたちがバスケットボールを楽しめる環境を作ること、発育発達段階に応じた適切な指導を受けて成長できることが重要なことです。しかしながら、試合に勝つことに重きを置いた練習や指導など「勝利至上主義」の考え方がまだ数多く存在しています。特にこの年代においてはこれまで以上に指導者育成の充実を図り、「勝利至上主義」からの脱却を徹底していきます。また、各種大会の再検討や、低年齢でもバスケットボールに触れ、楽しめる環境の創出に取り組んでいきます。

### <U-15・U-18>

U-15・U-18年代では、大会の多くがトーナメント形式で試合機会(試合数)の不平等が生じています。また、中学1年次・高校1年次では試合出場機会が少ないこと、中学3年次・高校3年次では夏以降バスケットボールを続ける環境がないことが大きな課題です。さらに近年では部活動を離れたクラブチームとしての活動が活発化してきていますが、そこで活動するチーム・競技者の参加できる公式大会がありません。今後、各種大会の整理・見直しを行うとともに、リーグ戦導

入の推進、競技レベルに応じた試合数の増加や各年代での試合出場機会の創出、クラブチームが参加できる公式大会の新設を推進していきます。

<一般(大学・社会人等)>

現在、実業団、クラブ、教員、家庭婦人、大学、専門学校と各連盟単位に分かれた活動が多く、限定された範囲での活動となっています。各連盟の垣根を越えて、バスケットボールに参加できる環境を拡げるためにリーグ戦導入を推進し、競技レベルや趣向に応じた試合環境を増やしていくとともに、より多くの人々がバスケットボールを続けられる環境を構築していきます。また、生涯スポーツとしてシニア層向けの大会の新設を含む環境整備を行い、シニア層の活動の充実を推進していきます。

以上